

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
アイノミドリシジミ	シジミチョウ科	金緑色の輝き	X	X	X	全国の山地、北海道の丘陵・低山地



長野県南佐久郡 7月下旬 柳の樹上でテリトリーを張る♂



長野県南佐久郡 7月下旬 朝日を浴びて開張する♂



長野県南佐久郡 7月下旬 早朝下草に降りる♂



同 ♂の卍巴



同 羽化直後下草を這い上る♀

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹								発生回数/年		越冬形態	
ミズナラほか (ブナ科)								1		卵	

山地性のシジミチョウでハイム周辺では見られませんが、オスの羽は黄色みがあった強い金緑色で、オオミドリシジミの青緑、ミドリシジミの緑に比べると重厚な派手さがあります。

アイノミドリシジミのオスは早朝2～3時間ほど活発に活動し、自らの縄張り（テリトリー）に侵入する他のオスを追い出すため、卍巴（まんじどもえ）飛翔を繰り返し、キラキラ光りながら2頭、或いは3頭、4頭がもつれ合い飛ぶ姿は圧巻です。

メスは他のミドリシジミと同様に褐色の地色に、遺伝によりA（橙班）、B（青班）、AB（橙青班）及びO（無班）の各タイプに分かれます。



190725 0922 信州南佐久 下草のササに降りる♂



200809 1030 信州上高地明神 ♀ A B型 周辺にはミズナラは見られないところの下草